



奈良県感染症情報

令和2年 第35週(8月24日～ 8月30日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(4～8月)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.24	(1.85)	↘	→	↘	↓
2	ヘルパンギーナ	0.56	(0.21)	↑↑	↗	↑↑	→
3	突発性発しん	0.41	(0.35)	→	↗	→	↑↑
4	咽頭結膜熱	0.24	(0.26)	↑	↑	→	→
5	A群溶連菌咽頭炎	0.15	(0.26)	↘	↓	↘	↓

発生状況: 大流行 流行 やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓減少

◆ 県内概況 ◆

ヘルパンギーナの報告が増えています。中和保健所管内で、特に1歳の報告が多いです。いわゆる夏かぜの代表的疾患で、乳幼児を中心に夏季に流行し、突然の発熱と咽頭痛を生じます。また、発症から2～4週間後頃まで便中にウイルスの排泄は続くこととされており、おむつ交換後の手洗いを励行してください。また、タオル・おもちゃ等の共有は避け、使用した物はこまめに消毒しましょう。

県内において、新型コロナウイルス感染症患者の死亡が2例発生しており、いずれも高齢者の方でした。新型コロナウイルス感染症は、罹患しても約8割は軽症で経過し、治癒する例が多いですが、高齢者や基礎疾患をお持ちの方は、重症化するリスクが高いことが報告されています。職場や家庭で周囲にこれらの方がいる場合は、ウイルスを持ち込まない、拡げないことを特に留意し、自分の体調管理、感染対策をしっかり行っていきましょう。

◆ 病原体(ウイルス)検出情報 ◆

*令和2年4～8月におけるウイルス分離同定での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名	検体採取日
インフルエンザ AH1pdm09	3	2			インフルエンザ(5)	12/21～2/19
インフルエンザ B (ピクトリア系統)	1	3	1		インフルエンザ(5)	1/27～2/10
コクサッキーB群 3		1			感染性胃腸炎(1)	11/28
コクサッキーB群 5		1			感染性胃腸炎(1)	2/8
エコー 18		1			感染性胃腸炎(1)	11/26
エコー 30		1			感染性胃腸炎(1)	12/6
ライノ		4			無菌性髄膜炎(1)、発疹症(1)、副鼻腔炎(1)、その他(1)	2/7～6/12
サイトメガロ		2			不明熱(1)、サイトメガロウイルス感染症・急性リンパ性白血病・ウイルス性膀胱炎(1)	2/13～6/1

※感染症発生動向調査において、新型コロナウイルス対応のため、医療機関より提供いただいた検体の検査が遅延しております。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 35 週 8 月 24 日 ~ 30 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	8 (0.24)		4 (0.44)	3 (0.43)			1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	5 (0.15)	1 (0.11)	1 (0.11)	3 (0.43)				
感染性胃腸炎	42 (1.24)	7 (0.78)	16 (1.78)	4 (0.57)	15 (2.50)			
水痘	4 (0.12)	2 (0.22)	1 (0.11)	1 (0.14)				
手足口病	3 (0.09)			3 (0.43)				
伝染性紅斑	2 (0.06)			1 (0.14)	1 (0.17)			
突発性発しん	14 (0.41)	4 (0.44)	3 (0.33)	4 (0.57)	2 (0.33)		1 (0.50)	
ヘルパンギーナ	19 (0.56)	2 (0.22)	3 (0.33)	8 (1.14)	6 (1.00)			
流行性耳下腺炎	1 (0.03)		1 (0.11)					
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎								
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)			1 (1.00)				
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(奈良市1、郡山1、中和2、吉野1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症2件(郡山2)
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(奈良市1) 梅毒1件(中和1)

❖ 第 35 週のトピックス ❖

◆ 今冬のインフルエンザについて(2019/20シーズン)(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-m/590-idsc/9830-fludoko-2020.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						3009
	女																						2919
RSウイルス感染症	男																						105
	女																						69
咽頭結膜熱	男			1	1																		2
	女			5																			6
A群溶連菌咽頭炎	男										1												1
	女							1	1		1												4
感染性胃腸炎	男			3	4	3	3	2	1	4				5	1	5							31
	女			1	2		2	1		1						3							11
水痘	男			1							1												2
	女											1											2
手足口病	男				1																		2
	女									1													1
伝染性紅斑	男									1													2
	女									1	1												4
突発性発しん	男	2		1	1																		10
	女	1	4	4						1													10
ヘルパンギーナ	男			9	3	1				1													14
	女			3			1			1													5
流行性耳下腺炎	男																						1
	女												1										1
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						1
流行性角結膜炎	男																						30
	女																						32
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						3
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						15
	女																						14
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1
	女																						7

◆注目疾患の動向◆ 全て定点当たり報告数

■ R2 ▲ R1 □ H30 〰 過去10年平均

